

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
中間評価報告書

研究開発課題名	ヒアルロン酸ナノゲルによるポリペプチドの可溶化・生体内輸送機能解析とワクチンへの応用
代表機関名	旭化成株式会社
研究開発代表者名	勝又 徹
全研究開発期間	令和3年度 ～ 令和7年度（予定）

1. 研究開発成果（公開用）

中間報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000120225.pdf>

2. 総合評価

- ・良い

【評価コメント】

ヒアルロン酸ナノゲルの新型コロナウイルス感染症ワクチンへの応用を着実に進め、アジューバントフリーで抗体産生を惹起することやコールドチェーンによらない流通が可能なことも明らかにし、本技術の有益性を明らかにした。さらに、安全性の確認や製剤化検討も進めており、実用化に向けて導出が進むことを期待したい。

これまでは新型コロナウイルスのS1 タンパク質に絞った検討であったが、今後は、シーズ開発課題との課題間連携にも積極的に取り組み、その対応を通して、他のモダリティへの適応可能性や投与方法の拡張について検討し、ヒアルロン酸ナノゲルの汎用性を高める研究開発を進めること。

以上